

2019年(令和元年)7月23日(火曜日)

駅南口東街区の再開発

施設計画修正案

三島市が提示

JR三島駅南口東街区の再開発事業を巡り三島市は二十二日、市議会経済建設委員会で、現段階の施設計画の修正案を示した。高層マンションやホテル、立体駐車場の規模や配置が変更された。

当初は、タワー棟の北側の建物にマンション百九十四戸とホテル百室が入り、南側の建物に商業施設とマンション八十八戸が入居。東側に建てる立体駐車場は

商業用とマンション住民用で計六百二十六台収容する計画だった。

修正案では、南棟のマンション部分が北棟へ、逆に北棟のホテル部分が南棟へ移った。これに伴って、北棟は二十四階建て高さ九・五層が、約九層下げて二十二階建てになる。マンションは十八戸増の三百戸に変更。ホテルは五十室増の百五十室になる。東側の立体駐車場は四十四台増の計六百七十台収容となる。

ただ市は、今後も修正の可能性があるとしている。

(佐久間博康)